

最終更新日 H25.3.1
改修技術 No. 11111301

性能分野	耐久性・耐用性		
大分類	劣化部分の補修、外力の緩和		
中分類	表面処理改修		
技術の名称	表面含浸工法		
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・表面含浸工法は、表面含浸材をコンクリートに含浸させることにより、表面に吸水防止層や劣化防止層を形成し、劣化進行の抑制や耐久性の向上を図るものである。表面含浸材には、浸透性吸水防止材や浸透性固化材、アルカリ性付与材などがある。 ・補修効果は施工する下地の状態（施工材料の含浸程度）により異なる。メーカーによっては余剰分が発華するものがあるので、ふき取りが必要になる場合がある。周辺部には付着防止のために養生が必要になる。 ・<u>浸透性吸水防止材</u>は、コンクリート表面に含浸して吸水防止層を形成し、外部からの水の侵入や塩化物イオンの浸透を抑制する。コンクリート以外には、モルタル、ALC パネル、スレート、煉瓦、石材に施工されることもある。 ・<u>浸透性固化材</u>は、浸透性吸水防止材と同様の目的で施工されるが、含浸深さが浸透性吸水防止材よりも深いため、保護層がより深い位置に形成されることから、材料や条件によっては大きな補修効果が得られる。また、材料によってはコンクリートを改質し緻密化させる効果や、アルカリ性を付与させる効果を有するものがある。 ・<u>アルカリ性付与材</u>は、中性化ならびに表層劣化したコンクリート素地面に塗布含浸させることによって、アルカリ性を付与させる。アルカリ付与材は、水に接すると溶解するので、仕上げ材が必要。 		
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <pre> graph TD A[施工範囲の養生] --> B[高圧水洗浄] B --> C[乾燥状態の確認] C --> D[塗布 (1回目)] D --> E[塗布 (2回目)] E --> F[清掃] </pre> </div> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center;">塗布の様子</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・改修後の性能 耐久性の向上（防水性の向上） 		
共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	<input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55 年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1)	使われる可能性が相当ある※
		S55 年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2)	使われる可能性が相当ある※
		S56～H2 年供給(総プロB)	使われる可能性が相当ある※
		H3～12 年供給(総プロC)	使われる可能性が相当ある※
		H13 年以降供給(総プロD)	使われる可能性が相当ある※
(注) ※仕上げ材の有無や種類による			

常にセットで利用される技術		<当技術を適用する前の劣化部分の除去技術> 劣化部分の除去工法 (No. 11111101)
技術が適用される建物の部位		<input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 (<input checked="" type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部) <input type="checkbox"/> 専有部分 (<input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専用部) [設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 () <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令 ()]
団地で適用した場合のメリット		<input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い () <input type="checkbox"/> 特定の設備があること ()
足場の設置が必要		<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 ()
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 ()
	一時的な影響が発生	<input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 粉塵 <input checked="" type="checkbox"/> 臭気 <input type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 ()
	工事後に続く影響が発生	<input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 () <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響 ()
当該技術が利用される工事		<input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事 (<input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上) <input type="checkbox"/> 耐震改修工事 (<input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上)
技術的境界		—
参考資料	技術情報	・「表面保護工法設計施工指針 (案)」(社) 土木学会
	価格情報	・「マンション Re」(一財) 経済調査会